

国難

長崎のいゆゆのビーカとトとの別荘と

見たの付半世紀 昔のことだ

便物はちりちりちりちり <sup>人</sup>の歌の <sup>通</sup>り 押しやれ

ちりちりちり

その物落を思いおこし 印水う 見ていごと

ひとつひとつ うるおけり

とほろく見とわていれ

今朝は九州の北部 大雨で大夏の前うだ

もちろんの吾媽がふくすれら

みけち三時ごろ いろもとちかろ 丘に存う

奇の口開のアチ白の天で月おさめれ

特別教養 <sup>ケイ</sup> の説明を氣象庁から発表表

大すまゝの角は 行き場がある

何人かの人とヒナチ 第壹指示

いつたいどこへ行くことか 去来するが

ふくしきの大角の甲の 移動

今年が経験しおとの 有い大雨 八月一ヶ月

の三倍の雨と93と

身の安全を守つて下さい と言つていふ

大笑客也

息子の再の笑客 忘しよる可き事

特別警報が去つてい

一方コトナキ

どのく ぶえて入 院を するやうな 状況

看護師もオリエントビヤウハネナシ 不足といわ

れといふ

よく有り ことな 重なる

困難なと思ふ

何と云ふ事か

あつと 念ふい ぶやん

2021  
8/14